

おどろ

永平寺町議会だより

第78号

INDEX

令和7年5月2日発行

特集

議会提言が反映された事業 P2～3

新年度注目事業はこれだ！ P4～7

そこが聞きたい！

議員10人が一般質問 P16～19

議会だよりは
こちらからも
ご覧いただけます▶



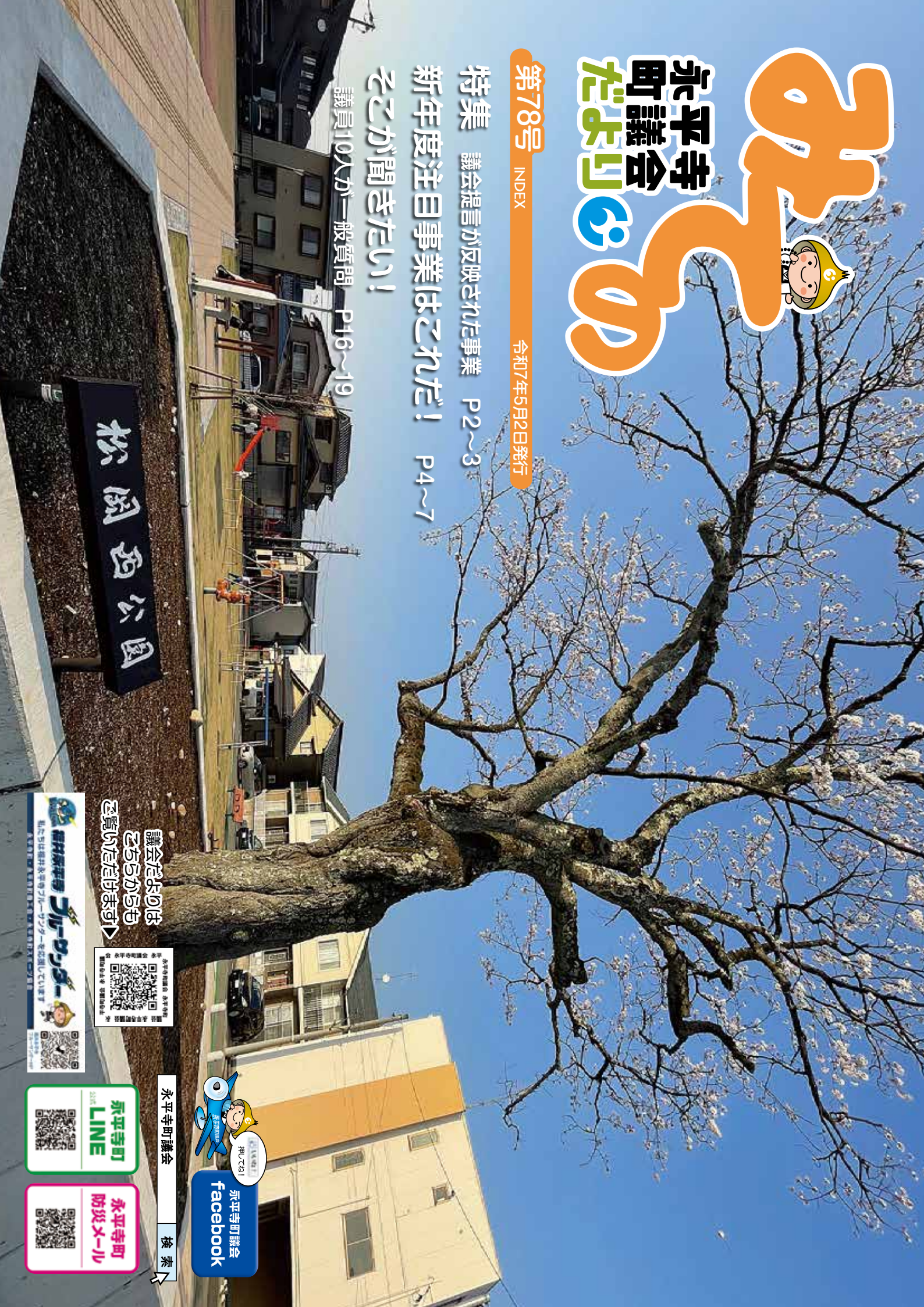
永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索

永平寺町
LINE

永平寺町
防災メール



映された事業

7年度当初予算にかかる主要事業

事業 2 新規



予算 60万円

高齢者のみ世帯が整備する防犯対策品購入・設置に伴う経費の一部を補助する。防犯カメラ、カメラ付インターホン、センサー付ライトおよび防犯フィルムが対象品となる。

議会の視点



設置希望に応じた経費補助は、昨今の治安悪化には有効である

と考える。金額の張る監視カメラのほか、センサー付ライトの設置など比較的安価で犯罪抑止効果が見込める器具の設置も対象となり、購入・設置の増加も大いに見込める。

地域の声

地域寄合で本事業を紹介したところ、内容に関する質問が相次ぎました。集落内道路が抜け道に使われているので、その抑止にも有効ではないかとの声も聞かれました。

家庭用防犯対策品設置費補助事業

安心して安全に暮らせるまちづくり
防犯活動の強化

事業 1 新規



予算 540万円
(令和8年度より)

2027年の一般蛍光灯ランプ製造廃止に伴い、既存の照明器具をLED照明に取り替えることにより、電気料金の削減および二酸化炭素排出量の削減を図る。公共施設（一部を除く）の照明器具を10年リース契約で令和7年度から計画的に更新する。

議会の視点



通常の「工事」で整備するより「賃貸借」で整備することにより

導入コストを平準化し、更に短期間での整備が図られる。賃貸借契約で取替えを行うが総合的なコスト削減と町内業者育成のバランスがカギである。

interview



議会事務局 山田さん

以前の水銀灯よりも明るく、入り切りのタイミングも早く、電気代も安いようです。

公共施設LED化事業

健全な財政運営に向けて
効率化・効果的な行政運営の推進

事業4 拡充



予算 **400万円**

健康診査およびがん検診受診対象者への健康診査等の周知、受診勧奨を担当部署と連携しながら効果的に周知勧奨を行い更なる受診率の向上を目指す。

議会の視点



町民の高齢化に拍車がかかっている。健康寿命の延伸が大きな課題となっている。

いつまでも身体と心と脳の健康が維持できるように「いきいき健康室」が中心になって推進し、健康寿命がどれだけ延伸できたかの検証もお願いしたい。

interview



いきいき健康室 羽柴室長

住民の健康寿命の延伸のため、健康診査等関係各課と連携して健康づくりの推進に努めます。

元気長生き健康づくり推進事業

健康で心がふれあうやさしいまちづくり
生涯を通じた健康づくりの推進

事業3 新規



保育士補助事業

豊かな人間性と文化を育む、ゆとりに満ちた人づくり
子育て支援の充実

予算 **280万円**

保育士の職場環境を改善し、子育て世代職員の仕事と家庭の両立を図るとともに、保育士不足の解消にも繋げる。

保育士が毎日行っている園内の清掃や消毒等の作業をシルバー人材センターに委託する。

議会の視点



全国的に保育士不足が生じている。現場の現状をしっかりと把握し改善できる事は積極的に行って欲しい。

ただ、補助事業を展開したことにより効果があったのかどうかの検証もしっかりとお願いしたい。

interview



永平寺町シルバー人材センター
家根事務局長

まちづくりに少しでも貢献できたら幸いです。



中村勘太郎議員

地域おこし 協力隊事業

隊員が自ら積極的に、地域力の維持及び地域活性化の担い手となるよう、町民全体で育成できるよう期待。

永平寺町病児保育 施設整備補助事業

町内に病児保育施設を新設し、子育て世代の負担軽減になるよう、保護者の仕事と家庭の支援に期待する。

農業振興事務諸経費

「いちほまれ」・「コシヒカリ」の町産米に力を入れる永平寺町が、その稲わらを活用したファミリー対象のイベントを実施することで、関係人口の創出に期待する。



川崎直文議員

部活動地域人材 活用事業

中学校の休日の部活動の地域移行を国が示す時期よりも一年前倒しての実行。学校、外部指導者、保護者、地域の連携による円滑な地域移行、持続できる部活動に期待する。

学校給食管理 運営諸経費

小中学校の学校給食は、児童生徒数の減少、施設の老朽化、調理作業の身体的負担等の課題がある。HACCPに沿った衛生管理、調理作業の改善は必須。早期の対応が必要。

地域づくり 推進事業

補助金交付要綱見直しでより申請しやすくなった「わがまち夢プラン」、小中学校の児童生徒が企画した地域活性化事業を支援する「スマイルプロジェクト応援事業」に期待する。



金元直栄議員

学校施設整備費 (屋内運動場空調設備導入)

夏の異常な暑さ対策、特に災害時の避難所として活用するためにも空調の整備を行うという。いつも利用している子らにとっては、大きな贈り物となる。まさか電気を食うから使うなどと言わないだろう。

町行政組織条例の改定

町は地域づくり応援課を永平寺支所に設けるため、行政組織条例の2条で示されていた永平寺・上志比支所を削った。支所の「建物はあっても、支所はなし」の状態となる。

国保税(料)世帯割4000円、 個人割4000円の引き下げ

国民健康保険特別会計は、近年若干の積立金が生じていたこと。それに本町の国保税(料)は県下でも1位、2位と高かったこと。この計8000円の引き下げは喜べる。



清水憲一議員

えい坊館 運営管理事業

本来目的があつての器を立てるところが、器が先になつての“さて何に使おうか”になっているから無理感がある。指定管理を目指しているようだが、無駄使いにならぬようしっかり見ていきたい。

環境政策推進事業

一般住宅向けの太陽光パネル及び蓄電池の設置に対する補助金であるが、昨年度(実質0件)に引き続きの事業である。しっかりと有効性をアピールして、募集枠を使い切っていただきたい。

保育士補助事業

保育士を目指す学生が激減している中、現役保育士に対する職場環境並びに待遇の改善が急務と考える。職員のモチベーションアップが現場での事故の低減に繋がり、預ける保護者の安心に繋がる。

新年度 注目事業はこれだ！

期待通りの成果があるか、しっかり検証!!



長岡千恵子議員

永平寺町病児保育 施設整備補助事業

町内では初めての施設である。子どもが病気になった時、保護者は困惑していた。病気の子どもの安心して預け、仕事に専念できる。子どもにも保護者にも温かい施設であることを望む。

学校施設整備費 (屋内運動場空調設備導入)

近年、夏の猛暑が当たり前のようにになっている。そういう猛暑の中でも、児童生徒が学びを広げスポーツに励めるように、子どもたちの利用を最優先にした設備活用にしてほしい。

すこやか介護用品 支給事業

介護用品利用者の実態調査（アンケート）を実施。アンケート結果から使用実態に則した支給品と支給量を検討し、利用者の快適な生活が保てることを望む。



清水紀人議員

永平寺町病児保育 施設整備補助事業

保護者が就労等の事由により、病気の子どもの自宅を保育ができない場合、安心して預けることができる環境を提供できる。児童の福祉の向上を図る共に時代に合った必要な事業。

永平寺町こども家庭 センター運営事業

妊産婦や子どもとその家庭が安心した生活を維持することができるよう、妊娠届から妊産婦支援、子育てや子供に関する相談・支援を繋ぐマネジメント等の重要な役割担う。

学校給食管理 運営諸経費

学校給食現場は様々な課題を抱えている。現在働いている調理員が長く勤務できる職場環境を整え、新たに働きたいと思ってもらえる環境づくりが不可欠だと考えている。



森山 充議員

有害鳥獣害対策事業

イノシシやシカは年間に100頭以上の捕獲実績がある。山中への埋設で対応しているとのことだが、今後処分地の確保も困難が予想されるので食用等積極的な有効利用を期待したい。

商工振興関係 利子補給事業

事業継続にあたって資金繰りは要であると考えられる。町内商工業者育成には安定的な資金供給が必要となり、今後の金利上昇による金利負担の増加が見込まれる中、注目に値する。

不法投棄等監視 パトロール事業

昨今の治安悪化の中、街中の監視カメラ設置が進んでいる。カメラ同士の連携で犯罪解決に至る場合もあるので、パトロールの効率化や投棄抑止効果も見込めるカメラ設置を期待したい。



滝波登喜男議員

空き家解体および 撤去補助事業

空き家は、その地域の住民の暮らしに大きな影響を与えかねません。新年度は、補助金加算の要件を加えて、さらに充実された。所有者に寄り添った粘り強い活動で、一件一件解決することを期待する。

分別収集 リサイクル事業

令和5年に行ったゼロカーボンシティ宣言文中に「禅の心」即ち「資源のありがたさや自然に対する感謝の心が息づく」とある。分別収集リサイクルの実践が、町民に禅の心や、感謝の心が息づきます。

永平寺町病児保育 施設整備補助事業

子育て支援充実の町の新たな支援策として、子どもが急な病気となった時に預けられる「病児保育施設」が町内民間業者によって整備される。これで保護者が安心して就労でき、子育て支援が充実されます。



上田 誠議員

永平寺町こども家庭 センター運営事業

児童福祉と母子保健から家庭や子育ての相談支援。全天候型遊び場整備は子どもから高齢者の保健福祉の“館”となる翠荘に期待。

健康増進と元気長生き 健康づくり推進

健康寿命の延伸を掲げ住民自ら取り組む支援“健康アプリ”いきいき健康室の設置で健康診査とがん検診等の受診率向上に期待。

学校施設整備費 (屋内運動場空調設備導入)

夏場の猛暑と冬場の極寒解消は教育・避難所・環境改善。地域づくり支援への舵切りと充実は今後の持続可能な共生社会に期待。



楠 圭介議員

永平寺町こども家庭 センター運営事業

急速に多様化していく社会であるが、あくまで義務教育終了までは社会の責任、行政の責任として真摯に向き合い、民間の支援団体の協力を得ながら切れ目ない体制をどん欲に研究して欲しい。

学校給食管理 運営諸経費

給食費無償は当町の子育て支援の目玉政策であるが、物価高騰・施設の老朽化・調理員不足など課題が多い。国会での学校給食無償化への動きも注視しながら、持続可能な体制づくりが急務。

地域づくり 推進事業

情報量が少なかった昭和モデルの地域社会から脱皮し、デジタル等を導入した持続可能な新しい地域社会の設立に向け、行政と地域・集落が一体となって進めて欲しい。

学校施設整備費(屋内運動場空調設備導入)

5人

永平寺町こども家庭センター運営事業

4人

永平寺町病児保育施設整備補助事業

4人

学校給食管理運営諸経費 3人

check
注目の高い
事業はこれだ!
今後の速やかな
事業進行が
期待されます。

新年度 私の 注目事業はこれだ！

期待通りの成果があるか、しっかり検証!!



齋藤則男議員

学校施設整備費 (屋内運動場空調設備導入)

体育館は、授業や部活動等に利用する場である。次世代の町を担う、町の宝である子ども達の教育環境の充実、そして、災害時の避難所環境の改善に期待する。

自転車用ヘルメット 購入補助事業

町民に対して自転車用ヘルメット着用促進に取り組み、着用率の向上を図り、自転車乗用中の交通事故防止と着用率の低い高校生や高齢者に対する促進に期待する。

永平寺町 生活応援券事業

物価高騰の影響を受けている町民に対し、生活応援券の発行は生活支援及び、地域内の消費を促進することにより町の経済対策の効果を期待する。



松川正樹議員

文化財保護事業

文化財の保存整備として、町指定文化財「島の宝篋印塔」鞘堂を地域住民等が訪れやすいよう周辺整備を行った。この鞘堂は南北朝の歴史まで行きつく。

宅地造成事業

東古市地区（えちぜん鉄道永平寺口駅県営パーク&ライド駐車場跡地）を宅地造成事業化する。早期分譲開始を目指す、早々の完成が成功の弾みの鍵となる。

町行政組織条例の改定

実質的に支所がなくなるのではと議論沸騰した地域づくり応援課。人事異動で骨格が見えてきたが、心配が残る。この新設課と支所がフル回転し、危機を突破していただきたい。



酒井圭治議員

永平寺町こども家庭 センター運営事業

町内においても以前より魅力ある遊び場の設置が子育て世代からも強く望まれ、今回は全天候型の遊び場の設置と共に子育て相談もセットした事業となり今後に期待できる。

自転車用ヘルメット 購入補助事業

自転車のヘルメット着用は命に関わる問題です。本町の道路整備状況を見ても、自転車の通行には非常に危険が伴います。一方、急激な物価高の中でもあり、この補助事業は有効。

学校施設整備費 (屋内運動場空調設備導入)

近年の記録的な猛暑により、体育館内活動で生命にも関わる熱中症リスク軽減といったことから、以前から指摘されていた住民要望が実現される。教育環境改善また避難所としても意味を持つ。

令和7年 第1回臨時会報告

令和7年第1回臨時会は、1月20日（木）に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

第1回臨時会議案

議案第1号 令和6年度一般会計補正予算について

3億5348万1000円増額 緑の村ふれあいセンター体育館天井補修工事 1億6729万7000円等

可決

※議長（酒井圭治）は採決に加わりません。議案第1号については全員賛成です。

令和7年 第2回定例会報告

令和7年第2回定例会は、2月25日（火）から3月21日（金）に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第2回定例会議案

承認第1号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認について 2万7896円増額 町道大月4号線での自家用車の物損事故に対する賠償	可決	議案第13号 吉野公民館条例の制定について 施設の公民館への移行に伴い、永平寺町吉野公民館条例を制定	可決
承認第2号 令和6年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 5805万1000円増額 除雪事業	可決	議案第14号 御陵公民館条例の制定について 施設の公民館への移行に伴い、永平寺町御陵公民館条例を制定	可決
議案第2号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の 育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 育児のための所定外労働の制限の改正等	可決	議案第15号 公民館条例の一部を改正する条例の制定について 上志比地域振興センター条例の一部改正、御陵公民館、吉野公民館の条例制定に伴う改正	可決
議案第3号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 扶養手当の見直し、及び勤務1時間当たりの給与額の算出方法の改正等	可決	議案第16号 健康福祉施設の設置及び管理に関する 条例の一部を改正する条例の制定について 施設利用料金の改定に伴う改正	可決
議案第4号 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について 扶養手当の見直しに合わせて、これまでの条例を全部改正	可決	議案第17号 水道の布設工事の監督及び水道技術管理者に 関する条例の一部を改正する条例の制定について 布設工事監督者、水道技術管理者の資格要件等の見直しにより改正	可決
議案第5号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う 関係条例の整理に関する条例の制定について 懲役及び禁錮を廃止し、これらに代えて拘禁刑を創設等	可決	議案第18号 地域包括支援センターの人員及び運営に関 する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 介護保険法施行規則の3職種（主任ケアマネージャー・ 社会福祉士・保健師）の配置の改正に伴う改正	可決
議案第6号 税条例の一部を改正する条例の制定について 「行政手続における特定の個人を認識するための番号の 利用等に関する法律」の一部改正に伴う改正	可決	議案第19号 個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供 に関する条例の一部を改正する条例の制定について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の 一部改正に伴う項ずれの改正、マイナンバーの独自利用事務の追加及び削除	可決
議案第7号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 医療給付費分、後期高齢者支援分の税率の変更に伴う改正	可決	議案第20号 防災行政無線設備の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について 設置する施設の名称変更に伴う「設置場所」の名称、「呼出名称」の変更	可決
議案第8号 国民健康保険基金条例の一部を改正する条例の制定について 基金の設置目的の見直しに伴う改正	可決	議案第21号 行政組織条例の一部を改正する条例の制定について 地域づくり応援課の設置、福祉保健課、子育て支援課、 永平寺支所、上志比支所の所掌事務の変更に伴う改正	可決
議案第9号 松岡福祉総合センター条例の一部を改正する条例の制定について 松岡福祉総合センター（翠荘）に「こども家庭センター」を開設するにあたり改正	可決	議案第22号 犯罪被害者等支援条例の制定について 犯罪被害者等の支援に関する施策の基本となる事項を定める	可決
議案第10号 農業構造改善センター条例の一部を改正する条例の制定について 松岡農業構造改善センターの所管を生涯学習課へ変更することにより改正	可決	議案第23号 令和6年度一般会計補正予算について 2億2511万4000円増額 除雪事業9977万1000円、 生活応援券事業7842万2000円等	可決
議案第11号 上志比地域振興センター条例の一部を改正する条例の制定について 町内の公民館の施設名称の統一化を図るため名称を上志比公民館に改正	可決	議案第24号 令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算について 8748万6000円増額 財政調整基金積立金 8003万円等	可決
議案第12号 松岡多目的集会センター条例を廃止する条例の制定について 施設の公民館への移行に伴い条例を廃止 ※議案第13号にて吉野公民館（さおび荘）を設置	可決		

議案第25号 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算について 770万円増額 後期高齢者医療広域連合納付金	可決	議案第38号 教育委員会委員の任命同意について 前任者の退任に伴い新任 竹林保博さん(東古市)	同意
議案第26号 令和6年度介護保険特別会計補正予算について 5766万4000円増額 施設介護サービス給付費4680万円等	可決	議案第39号 損害賠償の額を定めることについて 町道市野々5号線での自家用車の物損事故に対する賠償 1万7562円	可決
議案第27号 令和6年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算について 500万円増額 人件費320万円等	可決	議案第40号 上志比文化会館 ホール天井改修工事(建築)の請負契約締結について 契約金額 7639万5000円 契約相手方 清川建設株式会社	可決
議案第28号 令和6年度土地開発事業特別会計補正予算について 381万7000円増額 町有地売却収入	可決	議案第41号 緑の村ふれあいセンター体育館 天井改修工事(建築)の請負契約締結について 契約金額 1億1346万5000円 契約相手方 株式会社 西村組、フジタ 株式会社、 緑の村ふれあいセンター体育館天井改修工事(建築)特定建設工事共同企業体	可決
議案第29号 令和7年度一般会計予算について 総額110億333万6000円 民生費34億582万5000円、教育費24億4039万5000円等	可決	議案第42号 永平寺町副町長の選任同意について 前任者の退任に伴い新任 和田真生さん(松岡室)	同意
議案第30号 令和7年度国民健康保険事業特別会計予算について 総額14億7314万6000円 療養給付費9億1274万8000円等	可決	発委第1号 町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の 利用等に関する法律の一部改正に伴う項ずれの改正	可決
議案第31号 令和7年度後期高齢者医療特別会計予算について 総額3億1885万4000円 後期高齢者医療広域連合給付金3億1235万5000円等	可決	請願第1号 選択的夫婦別姓制度をただちに導入する ことを求めるよう国に意見書採択を求める請願書	不採択
議案第32号 令和7年度介護保険特別会計予算について 総額21億8584万円 施設介護サービス給付費8億4000万円等	可決	請願項目 1.選択的夫婦別姓制度をただちに導入するよう 国に求める意見書を採択すること	
議案第33号 令和7年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について 総額1億5457万2000円 診療費1億4529万3000円等	可決	請願第2号 ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器 禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願	趣旨 採択
議案第34号 令和7年度土地開発事業特別会計予算について 総額33万円 宅地造成事業	可決	請願事項 1.核兵器禁止条約への調印 批准することを求める意見書を国及び関係機関に提出してください。等の2事項	
議案第35号 令和7年度上水道事業会計予算について 総額6億7867万4000円 配水設備改良費2億1554万6000円等	可決	請願第3号 ガザの恒久停戦のための積極的外交活動 を日本政府に要求する意見書の提出を求める請願	趣旨 採択
議案第36号 令和7年度下水道事業会計予算について 総額11億4592万3000円 処理場建設改良費2億1736万1000円等	可決	請願項目 1.パレスチナにおける恒久停戦を実現するよう働きかけること。 等の4項目	
議案第37号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について 近助タクシー車両購入事業、東部5号取水井建設事業の 計画に一般道路改良事業2362万8000円を追加	可決	請願第4号 従来(紙)の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の請願 請願項目 1.国に対し、昨年12月2日に発行停止とした従来の(紙)の 健康保険証について、発行の存続を求める意見書を提出すること。 陳情第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充 を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択
		項目 1.政府は、最低賃金法を全国一律制度に改正すること。等の3項目	不採択

議案への賛否一覧 議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席） ※議長（酒井圭治）は採決に加わりません

	中村	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第21号	賛	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	反	賛
議案第29号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第32号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第42号	賛	□	賛	賛	賛	□	賛	賛	賛	賛	□	賛	賛
請願第1号	反	賛	反	反	反	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反
請願第2号	反	賛	反	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	反
請願第3号	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	反
請願第4号	反	賛	反	反	反	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反
陳情第1号	反	賛	反	反	反	賛	反	反	反	反	賛	反	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等40件については全員賛成です。
※請願第2号及び第3号は「趣旨採択」についての採決（賛否）の結果です。

議案への賛成反対討論

議案第21号 行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

齋藤 則男

今回の改正案は、永平寺支所を地域づくり応援課に改め、上志比支所を削除する条例。

この条例改正案を見ると、永平寺支所が地域づくり応援課となり永平寺地区に設置され、支所が削除される。その付属機関として2つの支所が属するものと解釈できる。支所が町長直轄から、所管課指揮下の属するものとなる。なぜ条例から、支所の名を消さなければならないのか、このままの条例では、行政執行において不都合なのか、その理由が明確に伝わってこない。本文から支所名を削除する意図が不明解。このことから、改正案に反対する。

賛成討論

森山 充

賛成の立場から発言する。現状にあった改正内容となっている。法務上の問題もないので賛成する。

反対討論

金元 直栄

本町の「課及び支所の設置」を示す条例の2条から「支所」をなくすことは、両支所の設置根拠をなくすことになる。地域づくりを強調するのなら、支所こそ必要。また、度重なる災害時など、中央集権では対応しきれない実例からも、支所をなくすことは認められない。

賛成討論

中村勘太郎

改正条例案にて、両支所名を削除されることに議論が集中されているようだが、永平寺支所及び上志比支所名称は、これまでどおり永平寺町事務所位置条例でしっかりと制定されている。

今回の条例改正案の目的は、新しく地域づくり応援課を新

設し、町内全域で両支所機能を尚一層、地域振興等・行政サービスを充実させるための、全町民の明るい将来に向けた条例改正案だと理解する。よって、今、条例改正案に賛成する。

反対討論

上田 誠

行政組織（課・支所）の変更で今回、永平寺・上志比の支所を廃止し、新たに地域づくり応援課の設置。新設課は今後の持続可能で共生社会には必要で評価する。しかし、支所の廃止は支所組織の存在をなくすことであり、住民の理解が必要なので反対する。

賛成討論

清水 紀人

第2条で地域づくり応援課に改定しサービスの向上を図る。第3条で改定して地域づくり応援課で下記内容を追加する。

- 1 支所の運営に関すること。
- 2 町管理施設全般の維持管理に関すること。
- 3 各種団体に関すること。
- 4 自治会との連絡調整に関すること。
- 5 各課との連携に関すること。
- 6 その他地域振興に関すること。

〔永平寺支所〕

- 1 町民サービス窓口業務に関すること。
- 2 その他永平寺地区に関すること。

〔上志比支所〕

- 1 町民サービス窓口業務に関すること。
 - 2 その他上志比地区に関すること。
- また、防災に関しても現状のスタイルを維持する。
上記が明記されており、なんら問題はない。

議案第29号 令和7年度一般会計予算について

反対討論

金元 直栄

学校給食の無償化など町民に必要な予算のあることは認めるが、次年度予算案への反対理由は、①マイナンバー保険証への強引な切り替えは、運転免許証の任意性と比べても異常だ。②保育士の確保が困難だから、園の民営化や統廃合を考える…には無理がある。公立園の良さを示してはいない。③学校給食のあり方研究といい、給食センター化は、食育は子の成長にとって欠かすことのできないものがかけている。④上志比・永平寺の両支所を行政分掌からなくすことは認められない。⑤学校の統廃合の進め方で、父母の同意を先にの進めるやり方。⑥合併20年記念事業で、平成の大合併は地域に何をもたらしたかの分析もなしに実施はいただけない。等の理由で反対する。

賛成討論

楠 圭介

子ども家庭センターの設立、観光DMOや農村RMO導入の検討、地域づくり応援課の設立に伴っての部活動地域移行への支援など新しい取り組みが

随所に盛り込まれており、8年度に繋がるチャレンジの姿勢が感じられる予算案である。スクラップ&ビルドの意識だけしっかり持って、有意義な1年になるよう期待する。

反対討論

上田 誠

予算全てに反対でなく必要で評価する点もあるが、①マイナ保険証のみの強行施策②地域の衰退につながる小中の統廃合③保育士不足解消を統廃合と民営化への責任回避④公民館等への人材と予算の不十分（他市町との比較）⑤支所組織の廃止の点から反対する。

賛成討論

清水 紀人

令和6年度予算と比較した場合令和7年度は13億2千万円の増となるが、国庫支出金、県支出金、合併特例債など、町債の財源確保に務め、将来負担を考えた健全な考えと感じる。

重点事業についても、必要なところに的確な支援である。物価高騰対策などは十分といえないが、評価すべき考える。

議案への賛成反対討論



永平寺支所



上志比支所

議案第32号 令和7年度介護保険特別会計予算について

反対討論

金元 直栄

介護保険制度はなくてはならない制度なのに、地域や自宅での介護の支えとなっている訪問介護の報酬減で、訪問介護事業所の運営は大変に。また、本町の本会計では金余りが見られるが、町実施の総合事業等で本町独自の施策が見られないことから反対する。

反対討論

上田 誠

介護保険の制度や施策に必要な予算であり、全てに反対するものではないが、介護運営事業者へ支援や特に従事者への処遇支援の面を考えると反対せざるを得ない。

請願第2号 ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願

反対討論

清水 紀人

前回同様の請願でも反対意見として述べられましたが、安全保障における日本の立場を考えると調印・批准は現実的ではありません。

賛成討論

上田 誠

この請願は、国連で採択された核兵器禁止条例への調印批准を政府に求め、会議へのオブザーバー参加を求めるもの。全国697自治体議会でも採択されており、ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いを受け止め、平和を求めるためにも賛成する。

請願第3号 ガザの恒久停戦のための積極的外交活動を日本政府に要求する意見書の提出を求める請願書

反対討論

楠 圭介

即時停戦への外交努力を日本政府へ求める趣旨に関しては異論の余地はない。しかしながら地方自治法第99条では「地方公共団体の公益に関わる事柄について議会は意見書を国会や関係行政に提出できる」とありますが、本件が直接永平寺町の公益に関わるとは言えず、意見書を提出するのはふさわしくないと考えるため不採択にすべきと考える。

賛成討論

金元 直栄

外交上の問題には、地方議会は関われないというが、国の進む方向に誤りがあれば意見するのは地方議会の権限の一つだ。それに、イスラエルは停戦中でもガザの一般市民を攻撃している。即刻ガザの攻撃を止めるよう、日本政府はイスラエルや国際社会に働きかけるべきです。

賛成討論

上田 誠

この請願はイスラエルによるパレスチナガザ地区への爆撃行動に対して恒久停戦の外交を求めるもの。人道的（医療・支援物資等）にも平和、非核宣言都市を掲げる町としても恒久停戦と平和的解決のためにも賛成する。

議案への賛成反対討論

請願第4号 従来（紙）の健康保険証の発行存続を求める意見書提出の請願

反対討論

清水 紀人

マイナ保険証により診療の利便性が向上すること。不正利用を防止し医療制度の適正運用につながることに。高齢者やデジタルに不慣れな人への対応策が整備されていること。従来の健康保険証に固執するのではなく、デジタル技術を活用して、より利便性が高く公正な医療制度を実現することが重要と考える。

賛成討論

長岡千恵子

マイナ保険証への一本化が進められている。高齢の方はマイナ保険証を利用して受診する時、病院の窓口で、使い方が分らなかったり、認証ができず困惑しているのを見かける。子どもや高齢者がマイナ保険証への切り替え利用するのは困難と考える。病院でのスムーズな手続をするには、従来の紙の保険証が必要と考え賛成する。

反対討論

森山 充

反対の立場から発言する。紙の保険証を残すことでマイナンバーカード普及への妨げとなるので反対する。

賛成討論

上田 誠

この請願はマイナンバーカードのマイナ保険証の一本化に加え従来（紙）の健康保険証の発行を求めるもの。現在も利用者は7割以上おり、特に高齢者や障害を持った人たちの配慮が必要。運転免許証も併存なので紙の保険証の発行に賛成する。

反対討論

楠 圭介

2つの健康保険証が存在することで医療機関の現場において、かえって混乱が生じてしまうのではないかと懸念があるため不採択にすべきと考えます。

賛成討論

金元 直栄

マイナンバーカードに保険証機能を持たせる、マイナ保険証への一本化が強要され、マイナンバーカードを持たない人、保険証の紐付けのない人、自分で判断のできない人や高齢者にとっては、マイナ保険証の利用率が高くない中では、従来の紙の保険証の発行は、安心して医療機関にかかるためにも必要だ。

陳情第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

反対討論

清水 紀人

地域ごとの経済状況や物価水準を無視している。地方の中小企業や雇用に深刻な悪影響を及ぼす可能性があり、物価上昇を引き起こし生活コストを押し上げる可能性があること。すでに段階的な引き上げが進められていることから、一律1500円以上を早期実行した場合、かえって雇用や経済に悪影響を及ぼす可能性がある。

賛成討論

上田 誠

この陳情は円安と急激な物価高騰で最低賃金で働く人たちに地域格差の解消と中小企業や小規模事業者への抜本的に支援策の拡充・強化を求めるものであり、現在の状況から必要と考え賛成する。

反対討論

清水 憲一

仕事において発注する側（中央）と受ける側（地方）においては、自ずと利益率に差が生まれる。その様な構図の中で全国一律に1500円というのは到底無理な話。

地方の事業主においては、倒産、廃業につながりかねない。結局、労働者の雇用が失われることになる。働く場を守るためにも反対。

賛成討論

金元 直栄

働く人の実質賃金はこの20年間下がりが続いているし、物価は円安もあり、急速に上昇している一方、自動車産業を始め大企業は、この円安の中、莫大な利益を上げ、内部留保も600兆円を超えている。しかし、製造原価の高騰を価格転嫁できない中小企業は多い。

大企業へは応分の負担を求め、中小企業への支援を国の責任で行い、働く人の最低賃金を引き上げることが日本経済の拡大にもつながる。最低賃金を早く時給1500円にすべきだ。



陳情・請願は
こちらから←

議会と語り合

令和7年度〈春季〉日程

地域に合わせたテーマを設定しましたが、いずれの日時・会場にお越しいただいても構いません。

日 時	主な対象地区	会 場	テ ー マ	担当 議員 (班)
5月12日 (月) 19:00~	葵、春日、芝原、 坂上地区	永平寺町役場 3階 小会議室	①防災と公園の活用 ②議員のなり手不足について	2班
	永平寺中地区 全域	開発センター 2階 消防ホール	①地域づくりと世代交代 ②議員のなり手不足について	3班
5月13日 (火) 19:00~	志比堺、薬師、 神明	松岡公民館 2階 多目的ルーム	①人口増の移住施策 (宅地開発と空き家の活用) ②議員のなり手不足について	1班
	松岡清流地区 全域	ふるさと学習館 1階 和室	①防災と公園の活用 ②議員のなり手不足について	2班
5月14日 (水) 19:00~	上志比地区 全域	上志比公民館 2階 研修室	①地域づくり応援課と支所 ②議員のなり手不足について	1班
	永平寺北地区 全域	町生活改善センター (志比北公民館)	①地域づくりと世代交代 ②議員のなり手不足について	3班
5月15日 (木) 19:00~	松岡御陵地区 全域	御陵公民館 (改善センター) 2階 多目的ホール	①防災と公園の活用 ②議員のなり手不足について	2班
	永平寺南地区 全域	志比南小学校 2階 ランチルーム	①地域づくりと世代交代 ②議員のなり手不足について	3班
5月16日 (金) 19:00~	松岡吉野地区 全域	吉野公民館 (ざおう荘) 1階 和室	①人口増の移住施策 (宅地開発と空き家の活用) ②議員のなり手不足について	1班

あなたの声を間近で聞く

担当議員



各会場に私たちが
お伺いします。

1班



2班



3班



勉強会を開催しました

**総
産
建**
常任委員会

**務
業
設**

当委員会の年間研究テーマである観光・インバウンドの勉強会として、県インバウンド推進室長松石健司氏より「県内や永平寺町におけるインバウンドの傾向と対策について」の講演をいただいた。内容は以下の通り。

- ・ 福井県内でも永平寺町に限っても観光客は増えているが、宿泊客が少ない。
- ・ 宿泊施設、夜間のレジャー施設が少なく内容も乏しい。
- ・ インターネット情報が少なく、旅行業者との繋がりも薄い。



両替機

など多くの課題が挙げられた。県としては



ESHIKOTO

外国人の受け入れ環境整備を進めていく方向であり、多言語案内看板の設置や免税店の充実を図っていくとのこと。永平寺町に対しては、現状把握のための調査に積極的な参加と宿泊施設へのフォローが求められた。

インバウンド客の増加には即効性のある施策はないと思われるので、情報発信やガイドの育成など受け入れ機運の醸成といった息の長い取り組みが必要であると考えられる。当委員会においても町内の富裕層向け観光施設であるESHIKOTOを視察し、現状把握から始めていく予定。

**松岡西公園
供用開始
しました**



松岡西幼児園の跡地に公園を整備し、この度「松岡西公園」として供用を開始しました。以前から桜の木が交差点付近にありましたが、移設して小学生の信号待ちスペースを確保してあります。園内にはブランコや滑り台等遊具の他にこじんまりした東屋も設置されており、子ども達の遊び場や地域住民の憩いの場としても活用が期待出来そうです。実際に晴れた日の午後に公園を訪れると、子ども達数人が遊具で遊ぶ姿が見られました。

現状報告と意見交換をしました

教 育 民 生
常任委員会

当委員会所轄の下記項目について現状報告および意見交換を実施した。

1 国民健康保険の状況について

- ・ 令和5年度決算概要
単年度収支1600万増。一人当たりの保険税横ばい。給付費微増。基金と余裕財源約2億円。
- ・ 被保険者数の推移
年々減少し令和5年は2830人。加入率15.3%で高齢化している。
- ・ 医療費の推移
被保険者の減により総額では減少傾向であるが、一人当たりでは入院、入院外、調剤とも増加傾向で44万8000円となった。

2 介護保険の状況について

- ・ 令和5年度決算概要
単年度収支は1億2000万。給付費は認定者数および利用者数は増加。コロナ期は減少したものの増加している。特に施設サービスの利用で、団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降は急増の推察。
- ・ 認定者数、介護度の推移
当町の高齢化率30.6%。認定率20.7%で年々増加で全国、県内より高い。町内の要介護1・2・3は多く200名以上になっている。

3 デジタル教育とデジタル教科書の現状、課題、方向性

- ・ 現状
令和2年度から3年度 1人1台のタブレット端末を配備
デジタル教科書、デジタルドリルの使用
視覚・聴覚の授業…授業改善、教師の負担軽減
- ・ 課題と改善
活用の情報不足、教師のスキル不足…活用支援員の配置や情報共有の強化
- ・ 校内ネットワーク環境整備
令和7年度より全校のWi-Fi環境の整備でネットワークの強化
令和8年度、全タブレット端末の更新
- ・ 方向性
国もデジタル活用を進めており、今後も発展が予測
2030年デジタル教科書も正式に位置づけられる
…紙、デジタル、実体験の活用（良さ）を組み合わせた教育へ

4 地域振興会について

- ・ 地域と振興会の連絡、交流会の実施を開催し、各々の充実発展を図る

5 社会教育関係の次年度の計画

- ・ 男女共同参画…講演会／参画の理解、向上、活動の推進を図る
- ・ 地域づくり…講演会／意識向上、参加意欲向上、課題解決視点等
実践ワークショップ／課題解決への行動計画、各々の連携強化、情報共有等



3月17日
教育民生
常任委員会
資料

3月定例会

そこが聞きたい!

一般質問という名の政策提案

10名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。

一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

【一般質問：目次】



一般質問議事録は
こちらから

森山 充 16P

齋藤 則男 17P

楠 圭介 17P

長岡千恵子 17P

川崎 直文 18P

上田 誠 18P

松川 正樹 18P

清水 紀人 19P

金元 直栄 19P

滝波登喜男 19P

3月定例会 一般質問 YouTube にアップ

一般質問の様子を動画で見ることが出来ます。議会
の様子や議員の質問内容など、静かに白熱した様子
がうかがえます。皆さんの視聴を歓迎いたします。



一般質問動画

問 出向者から見た町の課題は 答 保育士や調理員の人材確保

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略が
最終年度となるが、目標達成状況、現戦
略の評価と後継新戦略のねらいは。
総合政策課長 47の施策で目標を設定し
ており、14施策で達成済となっている。
残り33施策については今年度の結果を
もって判断し、令和7年度に現戦略の評
価を行う。新戦略は現戦略を引き継ぐ
が、デジタル技術活用 of 推進を横断的な
目標として掲げる。

副町長 役場外では災害対応、インフラ
整備、役場内では職員の労働環境整備、
保育士や調理員といった専門職人材の確
保が課題と考えている。保育士について
は幼児園の統廃合や民営化、調理員につ
いては調理施設の充実整備の方向など懸
案となっている課
題に結論を出す必
要がある。これら
の課題を抱えては
いるが、中部縦貫
道の県内開通など
も控え、観光や企
業誘致など期待が
できる本町の未来
は明るいと考
えている。



松岡中学校給食調理室

森山 充 議員





問 新年度の予算案の重点目標は 答 基本は住民の皆さんの安心・安全の生活

齋藤 則男議員



問 町長3期目の集大成として、本年度はこれを重点的に取り組みたい、町民にアピールしたいとの強い意志は。

町長 人口減少、災害等、住民の皆さんが安心安全に生活していくことが大事。予算はバランスが大切。その中で今年は、子どもの環境づくりに大きな予算を割いている。

問 予想しなかった財政需要に備えた財源が確保されているのか。

財政課長 財政調整基金、しっかり残高がある。

問 町税の収入は財政運営の基盤をなすもの、所得の見込みは十分に把握されて積算されたのか。

住民税務課長 県の統計資料等を参考に算出している。

問 町道や農道の老朽化が著しく、あちらこちらでの損傷が見受けられる。これが大きな事故等につながると思う。計画的に改良される予定は。

建設課長 計画的な維持管理を行うことが重要であると認識している。国の補助金を活用しながら緊急性の高い箇所から対応している。

問 過疎地域に指定されている上志比地区の振興策は町が中心となり、地域を巻き込みアイデアを提供し地域の人たちとともに計画を立てる考えは。

町長 振興会と話し、住民との意思疎通を図り求めているもの等、しっかり考えていきたい。

問 永平寺地区の幼児園について 答 何かしらの対応が必要

楠 圭介議員



問 令和7年度からの志比北幼児園数0、志比南地区においても3分の1が既に他地域の幼児園に通う現状を考えると、永平寺地区幼児園の在り方について幼児園や小学校保護者への聞き取りや意見交換など早期の対応が必要ではないか。

子育て支援課長 保護者の保育に対するニーズはそれぞれの家庭で違うので、ニーズに合った園を選択できる取り組みが必要であると考えている。

問 老朽化が進む永平寺地区の幼児園の新築に対する考えは。

子育て支援課長 3園すべて37年から43年の年月が経っており、安心安全な施設を保てるよう改修工事の計画は立てている。直近では令和9年度に志比幼児園の大規模改修が予定されており、それまでには何かしらの対応が必要だと考えている。

町長 保育士不足や保護者からの要望にどう応えていくか。大規模改修にて公立のままいくのか、民営化して新築するのか。子ども達がすくすく育つ環境づくりを第一に考え検討していく。



問 職員のリスク管理は 答 周りの人とのコミュニケーション

長岡 千恵子議員



問 令和6年度に職員のリスク管理について業務監査を行った。聞きたかったのは、職員の心の病気。役場職員、保育士や調理員の中に治療や休職をしている人が見受けられる。原因究明はできているのか。

総務課長 原因がはっきりしている場合と本人でもなぜそうなったのかわからない場合がある。最近増加しているのは、カスハラ。窓口や現場での高圧的な態度や暴言、長時間の身体的拘束、社会的地位を振りかざしての要求がある。

問 職場内では誰が対応しているのか。相談窓口はあるのか。

総務課長 高ストレス者への対応は産業医との面談。それが嫌な人には、役場委託のカウンセラーや共済組合委託のカウンセラーがある。一番の救いは普段から仲良くしている周りの人たちとのコミュニケーションによって助けられる。お互いに頼り合う関係性を築くことが緩和剤となる。

要望 役場外に第三者的な組織の専門職による相談窓口の開設を。



◆その他の質問…ふるさと納税の使途は。



問 連携と協働のまちづくりの推進は 答 コーディネーター、ファシリテーターにより推進

川崎 直文 議員



問 子ども・若者の地域づくりへの参画は。

生涯学習課長 小中学校の児童生徒が企画した地域活性化事業を支援するスマイルプロジェクト応援事業を行う。

ジュニアリーダーズクラブは4月に再結成し、地域ボランティアや独自活動による地域交流、他市町ジュニアリーダーとの交流に取り組む。

若者が主体的に地域にかかわる取り組みは、燈籠ながしや文化祭等のイベント、公民館が行う若者の交流活動がある。

問 協働のまちづくりの推進は。

生涯学習課長 2月に地区振興会と町側の意見交換会を開催した。今後も地域づくりに関する意見交換会を開催する。

問 多様な主体との連携、協働の推進は。

生涯学習課長 地域課題の解決に向けた活動を支援する重要な存在のコーディネーター、ファシリテーターの活躍を推進する。

町長 スポーツ協会、公民館、振興会、PTA等の活動を、コーディネーター、ファシリテーターによりしっかりと結びつけ地域づくりを進める。



「総合振興計画 後期基本計画」第6章「新しいつながり絆でひらく、連携と協働のまちづくり」

問 上下水道耐震化の進捗は 答 上水道令和25年度100%目指す

上田 誠 議員



問 能登半島地震の被害を教訓に耐震化が重要。国は28年末耐震率60%を示した。当町の進捗は。

上下水道課長 取水12と浄水5施設は100%。配水10／8施設96・5%は耐震適合。避難所等重要29施設への管路は約8%。8年度に詳細設計後9／25年度で100%を目指す。

問 下水施設の耐震化は莫大な費用のため、国は合併浄化槽検討も示したが。

上下水道課長 国の技術指針も鑑み8年度以後に耐震計画を策定し進める。

問 防災井戸や住民所有の井戸の活用は。

町長 可能3井戸（上吉野・上合月・荒谷）を調査し利用を検討。地域の井戸は自主防災組織と連携し支援する。

志比北小利活用の進捗は

問 学校の利活用は地域に任せるのではなく、行政の責任で対処すべきではないか。

町長 利活用を協議会に委ね、できない理由を会員のせいにはせず、町の責任で積極的に取り組む。

脱炭素社会への取り組みは

問 脱炭素に向け、町施設のLED化を進めている。住民意識向上に繋げる補助事業への検討は。

総合政策課長 すでにLED化世帯も多く、現段階では予定していない。

問 社会教育を本気で極めるには 答 きっかけづくり仕掛けづくりが大切

松川 正樹 議員



問 先日、社会教育の第1回学習会が開かれた。テーマは社会教育の基礎知識。私には夢の勉強会。本当に嬉しく、ありがたく感じている。今後2回目、3回目の勉強会をどう展開していくか、基礎知識を実践にどうつなげていくか、社会教育主事と社会教育士が鍵。そして3つの能力、コーディネータ、プレゼンテーション力、ファシリテーション力をいかに身につけるか。それには、社会教育主事になるために勉強してきた様々な科目をこれからも続けて学習していく。そして周囲の方々と何とかがして誘い出すことに尽きる。

教育長 学校教育、社会教育、家庭教育が全て地域につながるよう、いろんな仕掛けづくりをしていく。



社会教育勉強会

◆その他の質問…保育士、調理師の人手不足の解決を。中学生議会の復活を。役場の職員の仕事ぶりは。支所が無くなってしまうのか。



問 行政サービスを維持するには

答 集約化と民間と一緒に

清水 紀人 議員



問 国立社会保障・人口問題研究所が2023年12月に公表した日本の地域別将来推計人口で、永平寺町人口は2020年の1万8965人から2050年には1万3325人へと約29・7%減少が予測されている。20歳から65歳の労働人口が3659人減り（約30%減）税の減収は。

住民税務課長 税収面で影響する個人住民税の概算で行くと令和7年度予算ベースで、2億8000万円の減となる。

問 人口減少社会、調理員不足、HACCPの対応、老朽化問題の現状で、給食の在り方については早急に検討を進めるべきと感じる。

学校教育課長 学校給食運営の今後は、保護者また学校関係者の意見、幅広い意見伺って、その上で長期的な視点に立ち、より効果的かつ効率的な方法を検討する。

問 園児数の減少、保育士不足、志比幼稚園施設の老朽化などを考えた場合、志比幼稚園を民間化、新しい施設で運営すべき。

子育て支援課長 松岡地区にみどり葉こども園が開園し、公立園に戻りたいなどの声も聞いている。永平寺地区の幼稚園についても、保護者や地域の方が望む形になれるよう様々な方法を考えたい。



◆その他の質問…県産材の活用について。小中学校の制服と体操服について。

問 大人のひきこもり対策へ町は

答 重層的支援体制を考えている

金元 直栄 議員



問 「ひきこもり百万人が苦境。自己責任論で遅れた政策」との新聞報道。秋田県藤里町のひきこもりにさせない取り組みがプロジェクトXとして報道されていた。再度、本町で今後の取り組みは。

福祉保健課長 藤里町の取り組みは、支援のモデルとなる内容で、興味深く見ている。ひきこもりの内容は、複雑・複雑化していることも多く、令和7年度からは課題を包括的に支える支援体制の構築に取り組み。

本気で再生エネルギーの活用を

問 国内では円安もあり、食料品や電気料金を含むあらゆる物価が跳ね上がった。本町も町の好条件も活かし、小水力発電を活用して、町民へ大手電力より安価な電気の供給を、大学生を巻き込み本気で研究してはどうか。

農林課長 以前、小舟渡や御陵土地改良区で、国の補助を受け小水力発電の可能性調査を行ったが、採算が取れないとの理由で断念している。

町長 以前の条件と変わってきているところもある。引き続き研究していく。

◆その他の質問…本町農業の目指すもの、米不足は解消されるのか。

問 空き家実態調査結果への対応

答 所有者に直接働きかける

滝波 登喜男 議員



問 今年度、専門業者に空き家の実態調査を行ったが、その結果に基づいた対応が必要。特に活用できる空き家は、空き家バンクに登録いただき活用を。

えい住支援課長 331件の空き家を評価した。そのうち「A」そのまま使用可能な空き家72件について、バンク登録、無料相談会への参加を直接働きかけていく。「B」若干の修繕が必要109件については、空き家の価値を分かってもらうため、売れた場合の金額、修繕費、解体費の精度の高い概算額を示されるよう研究していく。

問 今冬の積雪で空き家の倒壊が起った。「D」そのまま放置すれば倒壊等の危険な空き家29件については、早急に解体すべきである。

防災安全課長 所有者がほぼ町外であることなど、コミュニケーションが取れないことが多い。空き家解体補助事業は、毎年10件程度利用されている。粘り強くフォローしていく。

デマンド乗合タクシーについて

問 御陵・上志比に導入計画だが、松岡・志比堺・永平寺中はどうするのか。

総合政策課長 運行事業者のドライバー不足もあって、2地区に先行導入する。

自由なご意見、お聞かせください



町民の声を議会へ

議会と語ろう会

開催決定!



新型コロナウイルス感染症の影響で開催を控えていた「議会と語ろう会」ですが、5月に開催が決定しました。詳細は13Pをご覧ください。
あなたの声を間近で聞く「議会と語ろう会」にぜひお越しください。

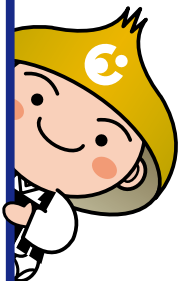


3月議会 再放送日程

5月9日(金)～5月23日(金) 頃まで毎日放送

毎朝6:00～ 夜24:00～ 約2時間番組

令和7年3月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、5月9日(金)から5月23日(金)頃まで、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。



次回定例会は

6月2日(月)
開催予定

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。

エレベーターもご便利です。事前申込不要!



議会HP

永平寺町議会だより **みでの** 第78号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会

編集 議会広報特別委員会

議会日程や議事録が閲覧できます。

議会広報特別委員会

委員長 川崎 直文

副委員長 清水 紀人

委員 中村勘太郎

長岡千恵子

森山 充

楠 圭介

発行責任者

議長 酒井 圭治



みでの第78号は、49議案と非常に多い第2回の定例会報告となりました。その中でも令和7年度予算は13億2千万円の増となり、注目事業も期待増の内容となっています。
今回も一般質問をYouTube動画で発信しています。町民のみなさんに「見える」「わかりやすい」議会を目指します。

(清水紀人 記)



議会活動レポートHPです。
議会のいろんな活動が見られます。